

第 2 1 回懇談会における各委員からの主な指摘事項

【議題 1：2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据えた 防災・危機管理体制の推進について】

- サイバー攻撃は、重要インフラ等の物理的なシステムを対象とする可能性もあるため、テロ対策と一体的に対策を強化していく必要がある。
- 大学や研究施設等において、病原体の管理を日頃から徹底するべきである。
- 国の機関だけではなく、海外や地方公共団体とも情報共有が可能な体制を整備していく必要がある。
- 外国人の観客等に対応するため、消防職員等に対する語学や異文化理解の教育を強化していくべきである。
- バイエリアで災害が発生した場合に備え、船の活用を検討するべきである。

【議題 2：火山噴火等の最近の災害に関連した取組について】

- 地域で言い伝えられている噴火の予兆の伝承や過去の災害における教訓を、更に活用していくべきである。
- 火山噴火を観測するシステム等の整備と合わせ、それぞれの火山の性質を踏まえた火山災害対策を研究・検討できる専門家を育成していくことが重要である。
- 2000 年の有珠山の噴火対応は優れたものであるので、こうした優れた事例から得られる教訓を、今後の火山災害対策にも活かしていくべきである。